分野	補完的な道路の整備	事業番号	86	事業名	県単道路改築
市町村名	上田市	ふりがな 箇所名	(主) 小諸上田線（こもろうえだせん） 町吉田（まちよしだ）〜中吉田（なかよしだ）	事業年度（完了年度は見込み）	H24 年度〜 H28 年度

事業概要

計画概要（延長・幅員・面積・工種など）	道路築造工　L＝1,200m　W＝6.0（10.0）m	H23年度末事業進捗率	0 %
H24年度以降残実施内容	同上	本工事費等ベース	0 %
H24年度実施内容	地形測量、詳細設計　L＝1,200m	用地補償費ベース	0 %

年度		全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残
事業費計（千円）		450,000	0	0	10,000	450,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	その他					
	県債	405,000	0	0	9,000	405,000
	一般財源	45,000	0	0	1,000	45,000

箇所評価

観点	評価項目・指標等	評価			ランク	評点
必要性（30）	計画交通量	■ 4，000台/日以上	□ 1，500台以上〜4,000台/日未満	□ 1，500台未満	B	4
	代替道路	□ 唯一の道路である	■ 代替となる道路がある			0
	ネットワーク（道路網）	□ バス路線である	■ B　駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	□ A及びBに該当しない		3
		■ ボトルネック箇所	□ ボトルネック箇所でない			4
		□ 観光地に通じる道路	■ 観光地に通じる道路ではない			0
	各事業特有の必要性（安全の確保）	■ 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	□ 4.0m以上5.5m未満(幅員)	□ 5.5m以上(幅員)		6
		■ 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	□ 歩道はあるが不十分であるものを再整備	□ 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		4
	他事業との関連	□ 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施				0
	小計					21
重要性（10）	設計上の環境・景観配慮	□ 環境・景観配慮がされ確実性が高い	■ 環境・景観配慮がされているが確実性が低い	□ 環境・景観配慮をしていない	C	3
	地域の法的な位置付け	□ 緊急輸送路（1次）に位置付けられている	□ 緊急輸送路（2次）又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光	■ 特別な位置づけはない		0
	小計					3
効率性（20）	費用対効果	■ B／C（3便益）1.0以上	□ B／C（3便益）1.0未満（3便益以外の観点から一定の効果が得られる）	□ B／C（3便益）1.0未満	A	5
	事業効果の早期発現（H24以降残事業年数）	□ 事業年数　3年以内	■ 事業年数　4年〜5年以内	□ 事業年数　6年以上		5
	コスト縮減	□ 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	■ 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	□ コスト縮減はしていない		5
	小計					15
緊急性（20）	安全性の向上	□ 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	■ 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	□ 交通事故や落石等の危険がない	B	6
	各事業特有の緊急性（医療・福祉）	□ 医療・福祉の連携が発揮できる道路（ネック箇所の解消）	■ 医療・福祉の連携が発揮できる道路（円滑化が図れる）	□ 医療・福祉の連携に関係ない道路		6
	小計					12
計画熟度（20）	地域からの要望	■ 地域住民の内発的な要望が強い	□ 市町村からの要望	□ 特に要望がない	A	7
	事業情報の共有	□ 関係者以外に広く周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない		5
	住民参加の状況	□ 住民が計画策定に直接参加	■ 住民や市町村の意見を計画策定に反映	□ 特に住民意見は反映していない		4
	小計					16
費用対効果（B／C）	17.3	評価の合計			B	67

事業周辺環境

事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)小諸上田線は、梅ヶ丘〜町吉田間の改良が終了し、未改良区間は当区間を残すのみとなっている。当区間は人家連担、幅員狭小で縦断勾配も急勾配であることから、バイパスの整備が地元の悲願になっている。
地域からの要望経緯	地元独自に交通量調査や路線検討を行うなど（H20〜21）、道路整備について強い要望がある。
事業説明等の経緯	上田市や地域の住民へ周知している。
環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。また極力、現道を利用するルートを検討したい。
他事業・プロジェクトとの関連	特になし。
特記事項	市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。
地域の合意形成	□ 全員賛成　□ 概ね賛成　■ 過半数賛成　□ 動向不明　□ その他

部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、地域経済の活性化に寄与する事業であるため、H24年度から事業化をしたい。	政策評価課意見	ボトルネック箇所解消の必要性は認められる。